応募方法　1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292　白石市大手町1-1白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。（koho@city.shiroishi.miyagi.jp）

市民文芸

歌壇

岩崎　聰之介　選

此の春は寒さいつまでつづくやら温き日を待つ桜餅を買ひ　八嶋　正子

これしきのものと思ひて除雪すれば足腰の痛み三日もとれず　佐藤　啓子

亡き夫の供養をせんと四国路をまたもめぐらん春早く来よ　阿部みさ子

陽は差せど束の間なれば緩むなく又凍てつくも明日は晴れんか　遠藤　舞

雪かむる木木の葉かげに一輪の寒椿けさ漸くひらく　阿部はぎの

早も一年郷土楢葉は人影なく寂しき町か再起を祈る　佐藤喜和子

雪残る庭をめぐれば草や木の息吹く力をしみじみ感ず　高子たちばあ

雪残る谷に根をはるマンサクは東風に目覚めて一番に咲く　後藤今朝雄

首に巻くスカーフの色春めきてピンク水色気分やわらぐ　鈴木　茂子

背を丸め寒い寒いと出ずる庭福寿草ふふみ心あかるくす　寺崎　悦子

評　一首目、「うかれたる心も少し桜餅」こんな句を思い出す。一足お先、春の気分をいただきたい作者なのだろう。

二首目、勢い込んで、うっては出たものの大変だったのだ。生活感がいい。

三首目、お気をつけて。よき遍路でありますように。

俳壇

山家　弘子　選

二十年野良猫棲みをり春の堂　和田　游稀

義経の硯石とやすみれ咲く　制野　リエ

入学を祝ふ青空飛行雲　岩松　隆志

銘々に酒缶配り探梅に　岩澤　伍峯

逝きし子の名を呼ぶ媼東風の沖　斎藤　典子

法事へと春の雪降る磐越道　大庭美智子

わが米寿祝いくれけり福寿草　高子たちばあ

おぼろ月指さす友の先にあり　跡部　祐子

みちのくに生れひたすら春を待つ　寺崎　悦子

紅梅の蕾ほころぶそよ風に　村上　照夫

評　一句目、お寺の堂に棲みついた野良猫を、20年もあたたかく見守り続けている。弱いものへの優しさが滲み出た句。

二句目、義経の使っていた硯を目の当たりにして、悲劇の義経を偲ぶ作者。すみれの花がピッタリ。

三句目、よく晴れた青空も飛行機雲も入学を祝ってくれているようだ、とみた作者の喜びが伝わってくる。

今月号から選者を担当させていただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。多数の投句をお待ちしています。

山家　弘子

柳壇

四竈　英夫　選

身内から余震が続く永田町　遠藤　行夫

つまずいてすがる柱を後で撫で　大庭　良子

申告の出来る幸せかみしめる　遠藤　松雄

街並の賑やかだった日が恋し　高子たちばあ

温かい手と手が結ぶ復興記　草野　清

何度でも聞いてあげます裏話　阿部はぎの

ひな祭り年に一度の大家族　村上　照夫

大雪とセシウム早く消えてくれ　古山さとし

震災後幾万の風おさまらず　寺崎　悦子

半壊で築いた資産みなゴミへ　佐久間とみ子

評　一句目、消費税法案をめぐって与党内で揉めている。野党にとっては揺さぶりを掛ける絶好のチャンス。敵は己の内にあり…か。

二句目、上げたつもりの足が上がらず、躓くのはよくあること。危うくすがった柱を思わず撫でた。せいくらべの傷が懐かしい。

三句目、震災で納税免除になった人はどれ程いたことか。納税できる幸せが今更ながら身にしみる。納税は国民の義務、享受は権利。

風間市長の 風のささやき 「笑顔で」

本年3月、幼稚園や保育園、小・中学校で卒業式が執り行われました。昨年は、3月11日の午前中に中学校の卒業式が行われ、その日の午後2時46分に地震が発生。その日以降に予定していた卒業式は中止となり、卒業証書の授与のみとなりました。本年は、自分たちの学校で卒業式を行うことができたのですから、本当に良かったと思います。当たり前のことが当たり前にできる喜びと感謝を、私をはじめ皆さんが体感したはずです。

これまでの卒業式と本年の卒業式の違いは、式の冒頭に地震が来た時の避難方法の説明が加わったことと、子どもたちの自信に満ちた態度や目の輝きが、例年よりも強かったことです。生き生きした目をしており、頼もしい感じを受けました。

地震発生後1カ月もしないうちに最上級生となり、ライフラインは止まり、通常の生活を送ることができない、「ナイナイづくし」の苦労の日々を過ごしてきたのですから、仲間意識や物のありがたみ、感謝の気持ち、そして何よりも上級生としての責任をやり遂げたという自信と経験がなせる結果の表れが、目の輝きとして一段と光って見えたのでしょう。

震災では、子どもたちも心に大きな傷を受けたはずですが、子どもたちの方が我慢強く、我欲に走らず、元気に明るく前向きな気持ちで素直に過ごしてきたのではないかと感じられることが多々ありました。白石の子どもたちの素晴らしさを再認識しましたし、誇りに思いました。それに、子どもたちの笑顔に皆さんも癒やされたのではないでしょうか。

故事に「笑って太れ」、古川柳に「笑う門　素通りはせぬ　福の神」という言葉があります。これは、〝いつもにこにこと笑顔で過ごして、幸福を自分に招き寄せよ〟ということです。苦しくとも笑顔を絶やさないと、幸福の方から自然とやってくるのでしょう。

白石市は現在、復旧に向け全力で取り組んでいます。建物・道路・下水など、被災箇所があまりにも多く、復旧状況が明確に見えない気がするかもしれませんが、着実に進んでいます。3月31日に災害対策本部を閉じ、平行して設置していた復興対策本部へとシフトしています。「復興」には時間を要しますが、あきらめず子どもたちに負けないように元気に明るく、より一層の安心を享受するために頑張りますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

5月は、昨年中止となった「市民春まつり」と「全日本こけしコンクール」が開催されます。多くの方が白石を訪れることと思います。笑顔で、おもてなしの心を忘れずに、復興に向けて頑張っていることを元気に発信しましょう。また、これらのおまつりに奮って参加し、私たち自身も笑顔の花を咲かせましょう。

笑顔で白石の復興を成し遂げよう！

がんばっぺ白石市民！

市長への生き活きメール

平成25年3月31日までお送りください。

㊐総務課広報広聴係　☎22-1331　FAX 24-4861

切りとり

のりしろ

市長への生き活きメール

市では、市民の皆さんから市政へのご意見やご提案をお寄せいただき、市長が直接目を通した上で、これからの市政に生(活)かしたいと考えています。

ご意見ご提案をお寄せいただくときには、裏面にご記入の上、切り取り線の通りに切り取り、のり付けして郵送してください。

また、ファクシミリでも受け付けますので、裏面にご記入の上、そのまま送信してください。

住所

氏名

のりしろ

のりしろ

切りとり

989 0290

料金受取人払

白石支店承認

39

差出有効期間
平成25年3月
31日まで

（郵便切手はいりません）

白石市大手町1番1号

白石市役所

白石市長　風間　康静　行